

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
1. 現状の概要と今後の方向性	新潟市協会 委員会 連盟
<p>新潟市サッカー協会として「サッカーファミリーの拡大」と言う点は継続し、大会・フェスティバル参加人数の増加が重要である事を確認する。</p> <p>2030年中期目標「市民サッカー大会」への参加に人数1800人は若干未達ではあったが、広く認知されてきたと思われる。但し、各カテゴリーでの参加バランスに懸念がある為、検討が必要である。</p> <p>フットサルへの協力体制については、大会実施迄には至らなかった。各種別、専門委員会との継続的に協議、連携を図り、近年中の実施を目指したいと思う。</p> <p>又、選手強化については新潟市トレセン活動（3種・4種）を中心に行い、優秀な選手輩出となっている。但し、ジュニアユース・ジュニアでは年代別日本代表は数名いるが、新潟市からA代表への選手は無いので、努力目標としたい。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
2. 中期目標（2030年）	新潟市協会 委員会 連盟
<p>「市民サッカー大会」への参加人数を1800人を旨指す。（1種・レディースのチーム・選手増加）</p> <p>「フットサル大会実施」（ジュニアユース・ジュニア年代）現在はかなり厳しいと思われるが、日程・会場…等の問題点が解決すれば、大会開催の可能性があるとと思われる。</p> <p>「選手強化」各年代・各地域でのトレセン活動を継続し、JFAインストラクター指導者を依頼し、選手指導強化を進める。又、指導者人材確保・レベル向上に努め、指導者向け講習会開催をする。</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022	全体 頁中の 頁
3. 長期目標（2050年）	新潟市協会 委員会 連盟
<p>「市民サッカー大会」への参加人数を1万人を旨指す。</p> <p>「日本代表選手を新潟市から輩出する」（全てのカテゴリーより）</p> <p>「新潟市より各カテゴリートップチームを作る」（各大会・リーグ戦において）</p>	

NIFAアクションプラン2018→2022					全体 頁中の 頁
4. 現状分析					新潟市協会 委員会 連盟
No. と 事項	2022年具体的目標	2018年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1-1 普及	市民サッカー大会継続実施 及び、参加人数1800人にする。	2018年度は約1300人の参加	72%	大会告知を充実する。(HP、ポスター) 他大会(各種)との連携確認をする。	新潟市スポーツ協会との情報・ 連携を確認する。 各種別日程を確認する。
1-2 普及	フットサル大会実施・大会協力	現状、大会実施に無。	0%	協会専門委員と協議し、現状調査し 大会開催に向けて検討・改善する。	民間施設利用状況・プライベート大会 …等を把握し、協賛での参加し 後に協会主導で開催を目指す。
2-1 強化・育成	新潟市より日本代表選手を 輩出する。	ジュニアユース・ジュニア年代では いるが、他カテゴリーでは 選出していない。	10%	新潟市トレセンの活動をより活性化し 優秀な選手選抜し、指導強化を図る。	トレセン事業の継続、指導者のランク アップをし、最新情報提供に基づき 強化を図る。
2-2 強化・育成	各種別において、チームのレベル 向上を図る。	ジュニア・ジュニアユースは大会上位に あるが、他種別では厳しい状態 なので、改善が必要です。	50%	各種別で活躍しているチームはあるが 全国大会上位を目指す為、選手発掘、 選手育成をし、チームとして確立する。	各カテゴリーでの選手層のレベルアップ を促し、リーグ戦・大会を通じて 質の高い試合にする。 また、状況に応じて、チーム単位での 強化支援検討をする。
3-1 運営	新潟市サッカー協会として 8区と連携強化体制を充実させる。	現状、8区との協体制に至らず 今後の改善が必要です。	10%	役員の整備、専門委員会の活動が 怠っていると思われる。	新潟市サッカー協会での役員会・ 専門委員会…等での情報・活動を 共有し積極的に係る。 いろいろな活動参加により運営強化に 繋げる。
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2022年目標に向けての2018年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

新潟市協会
連盟
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1-1 普及	実行委員会	2022迄に（継続的に）	新潟市内において	新潟市民サッカー大会を	企画・準備・運営し開催をする。
1-2 普及	市協会	2022迄に	新潟市内において	フットサル大会を	企画・準備・運営もしくは協賛参加をする。
2-1 強化 育成	市協会 技術委員会	2022迄に	新潟市内において	選手強化・育成及び指導者スキルアップを	新潟市トレセン事業を継続し内容の向上を図る。
2-2 強化 育成	市協会 技術委員会	2022迄に	新潟市内において	各カテゴリーにおいてチーム強化を	優秀な選手輩出しチームに紹介をして、チームに対して支援をする。
3-1 運営	市協会	2022迄に	新潟市内において	新潟市サッカー協会及び8区の運営強化・連携体制を	役員会・専門委員会を活動・情報を共有し運営強化をする。

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です